

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山排水機場施設維持管理適正化事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	06	01	05	01	51
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）		主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	水稻耕作地 (新川耕地地区)	意図	降雨時の水害から回避できるようになる。
事業内容	流山排水機場の施設更新や整備補修工事を行う。 ただし、施設更新や整備補修工事は費用が巨額に及ぶことから、案件ごとに5年間の積立て期間を設けての計画的な工事施工を行っており、工事実施に向けての積立金として毎年拠出している。			
事業開始から現在までの状況変化	事業開始当時から事業費は、国30%、県30%、市30%ずつを5年間にわたって千葉県土地改良事業団体連合会に拠出している。上記とは別に工事実施年度には、事務費として工事金額の1.23%を拠出している。なお、事業実施主体は市であるが、工事に係る設計・施工管理は、別途千葉県土地改良事業団体連合会に委託している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	拠出対象工事案件数	1	1	2	件	→→	
②	拠出金額（事務費を除く）	1,284	1,200	2,400	千円	→→		
③	計画外修繕（突発性の緊急工事）発生件数	0	0	0	件	↓↓↓		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆平成30年度拠出分の内訳 ポンプ整備補修工事 平成30年度加入 【R1年度施工/事業費65,582,000円】	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,019,072	3,858,330	4,377,600				
事業費(b)(円)		2,959,572	1,844,730	2,400,000				
うち一般財源		2,959,572	1,844,730	2,400,000				
職員給与費(c)(円)		2,059,500	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	修繕箇所を把握・精査する。	③取組における課題(Check)	災害時に対応できるように修繕箇所の把握精査が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	令和元年度に実施予定のポンプ整備補修工事の拠出金を納入した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	維持管理計画に従い財源を確保する。